

6月24日(土) 13:00~14:30 L会場

11. 新型コロナ禍における認知症診断・治療の問題点と将来への希望

座長：福井俊哉(横浜メディカルグループ医療法人 三星会かわさき記念病院院長)

- (1)「コロナ禍における当院神経精神科の取り組みと気づき」
笠貫浩史(聖マリアンナ医科大学病院認知症(老年精神疾患)治療研究センターセンター長)
- (2)「新型コロナ禍における認知症専門病院の現状と課題」
長濱康弘(横浜メディカルグループ医療法人 三星会かわさき記念病院副院長)
- (3)「新型コロナ禍における当院の取り組み～初期集中支援チーム、連携型認知症疾患医療センターの取り組みを中心に～」
内門大丈(医療法人社団彰耀会メモリーケアクリニック湘南院長)
- (4)「新型コロナ禍におけるレビー小体病診療～クリニックの立場から～」
織茂智之(医療法人社団新穂会上用賀世田谷通りクリニック院長)
- (5)「新型コロナ禍での地域における認知症ケア～在宅医療の現場から～」
高瀬義昌(医療法人社団至高会たかせクリニック理事長)

6月24日(土) 13:00~14:30 M会場

12. EHR (Electronic Health Record) の現状と未来

座長：三角隆彦(済生会横浜市東部病院院長)

- (1)「医療圏をカバーするEHRについて」
金子周一(金沢大学大学院医薬保健学総合研究科情報医学開発講座特任教授)
- (2)「厚生労働省が進める全国的に電子カルテ情報を交換・共有する仕組みなどの現状と今後について」
岡本 潤(厚生労働省医政局特定医薬品開発支援・医療情報担当参事官室長補佐)
- (3)「神奈川県における地域医療介護連携ネットワーク関連施策について」
市川良成(神奈川県健康医療局保険医療部医療課長)
- (4)「全国のEHRの現状と利活用状況について」
横田 元(株式会社ヘルスケアレイションズ取締役副社長)

- (5)「医療高度化に資するPHRデータ流通基盤構築」
山崎 敬太郎(総務省情報流通行政局地域通信振興課デジタル経済推進室課長補佐)

6月24日(土) 13:00~15:00 N会場

13. 病院の明日を拓くDX(デジタルトランスフォーメーション)

座長：長堀 薫(横須賀共済病院病院長)

- (1)基調講演：「医療のデジタル化・AI化で心温まる医療を！」
中村祐輔(国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所理事長)
- (2)「IT/AIの病院への実装を目指して」
陣崎雅弘(慶應義塾大学病院副院長/慶應義塾大学医学部放射線科学教室教授)
- (3)「急性期の入力支援AIと医療データ連携を通じた、価値を生み出す急性期医療DX」
園生智弘(TXP Medical株式会社代表取締役/救命救急医)
- (4)「音声入力電子カルテ導入からAIホスピタル実現へ向けた当院の取り組み」
土井智喜(横須賀共済病院救命救急センター長 AIホスピタルチームリーダー)

◆会長特別企画

6月24日(土) 9:00~11:00 A会場

公の役割、民の役割～徹底討論～

座長：自見 はなこ(参議院議員)

- (1)「新型コロナ感染症対応を踏まえた地域医療構想及び第8次医療計画」
厚生労働省：鷺見 学(厚生労働省医政局地域医療計画課長)
- (2)「地域唯一の公立病院、地域中核病院としての矜持と役割」
公的病院：海保 隆(国保直営総合病院君津中央病院病院長)
- (3)「赤十字病院グループが目指す公的病院の役割と未来」
公的病院：牧野憲一(旭川赤十字病院院長)
- (4)「公と民、コロナ禍で見えた役割分担と連携」
公的病院：一宮 仁(国家公務員共済組合浜の町病院顧問・福岡県地域医療構想アドバイザー)
- (5)「東京のコロナ禍における官と民の働き」
民間病院：猪口正孝(医療法人社団直和会平成立石病院理事長)